

編集後記

今年は殊の外梅雨入りが早くうとうとしい日が続いております。テレビのニュースで湿気が上がるとウイルスの拡散が減少すると報道していましたが、せめてそう願いたいものです。

本号の特集は「ぶどう膜網膜炎のイメージング検査」という極めて興味深いタイトルです。

編集委員をしてありますと、まず雑誌の最終校をいただくと全体に目を通すことにしていますが、特集の写真を見ていただくと、私のような門外漢にはそれだけで十分知識が身につきます。もちろん、それで本文を読みますと知識が確実なものになります。このように、ご多忙の先生方には写真を見ていただくだけでも最新の情報が得られると思います。執筆をしてくださった先生方の素晴らしい写真提供、すなわち詳細に症例観察を行い、少しでも確定診断に至るべく、すばらしい検査を行ってられるお蔭と頭が下がります。このように、昨今のイメージング検査の進歩は目覚ま

しく、それによる確定診断の向上、疾患の進行や治療方針の検討、治療の効果の確認等、必要不可欠なものになってまいりました。一方でその検査機器を持たないと上記のすべてが不可能となります。こうなりますとすぐに専門機関へ紹介ということになり、さらに新人眼科医たちが自分の眼で疾患を確定することが少なくなってくることを危惧しているのは、私のようなロートル医師ばかりではないように思います。

特集に続き、綜説は「眼底自発蛍光の臨床的意義」、[緑内障診療における OCT angiography の活用法]ですが、私のような神経眼科を専門としているものにとって、前者は自発蛍光の有無が診断の決め手となる重要な視神経乳頭ドルーゼン、さらに後者は虚血性視神経症と緑内障の違いを考慮するうえでとても勉強になりました。症例報告を含め、明日からの臨床に直結する内容となっております。是非ご一読ください。

(石川 均・記)

編集：富田剛司・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・坪田一男

「眼 科」 第63巻 第6号 6月号

2021年6月5日発行（毎月1回5日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間講読料金

定価 46,310 円（本体 42,100 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。